

令和5年度第1回山梨県中小企業・小規模企業振興会議における意見
～山梨県中小企業・小規模企業振興計画の改定について～

- 起業や新しいことに挑戦できる雰囲気作りや支援体制が必要。
- 新しいことに取り組みたい経営者に対する学びの機会が必要。
- 新しいことに取り組む経営者を支援するため、経営者同士のコミュニティの設置やネットワークの構築といった、横のつながりが必要。
- 人材の定着に関する取り組みが必要。
- 旧計画の「人材の育成・確保」について、進捗率（Uターン就職率、産業技術短期大学校等の定員充足率）が低いことに対して対策が必要。
- 施策や取組事例の周知・共有が必要。
- DX人材を育成するため、知識を得る機会が必要。
- 各市町村が振興条例を制定するように働きかけてほしい。
- 創業後の経営者に対するフォローアップが必要。
- 中小企業の価格転嫁について、支援する必要。
- キャリアアップ・ユニバーシティの受講に対するインセンティブが必要。
- 人材の育成・確保に関する大学との連携が必要。
- 企業のインターンシップ受け入れに要する費用を助成金として支援してほしい。